

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社アヤベ洋菓子 吉川新工場	階数	地上2F
建設地	埼玉県吉川市	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	190人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2022/09/00
敷地面積	6,999 m <sup>2</sup>	作成者	鹿島建設(株)安本
建築面積	2,441 m <sup>2</sup>	確認日	2022/09/00
延床面積	4,724 m <sup>2</sup>	確認者	鹿島建設(株)安本



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.9

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	食品会社として、周辺環境に与える影響を出来る限り少なくするとともに、地域環境を配慮したフレキシビリティ性のある合理的な計画により、環境負荷を低減した建築計画としている。	その他 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	室内環境に配慮して遮音・吸音性能のある開口部・内装仕上を採用し、化学汚染物質対策として規制対象品は全てF☆☆☆☆としている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> まちなみ・景観への配慮として該当している条例等に沿った緑地計画等としており地域性の向上として1階に直売所/見学室を計画している。
<b>LR1 エネルギー</b>	特になし	<b>LR3 敷地外環境</b> 交通負荷対策として附属義務台数以上の駐車場、荷捌き車両用駐車スペース確保。
<b>Q2 サービス性能</b>	維持管理に配慮し、耐久性の高い材料や設備機器を選定をするとともに、メンテナンス性も考慮した工法を採用している。 外壁・内装仕上・設備配管等は耐用年数の高い材料を選定	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	節水型水栓・機器(擬音)採用。 リサイクル材(床材・断熱材)採用。 OAフロアを使用して再利用可能性を高めている。 ノンフロン断熱材を使用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**株式会社アヤベ洋菓子 吉川新工場建設工事**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>3.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>					0.30		-		<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.6</b>	0.15		-		<b>3.6</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.40		-		
1.2 遮音				<b>4.2</b>	0.40		-		
1 開口部遮音性能		開口部はT-2の遮音性能を確保		5.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-		
1.3 吸音		床:タイルカーペット 天井:ロックウール吸音板		<b>4.0</b>	0.20		-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.8</b>	0.35		-		<b>2.8</b>
2.1 室温制御				<b>3.5</b>	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38	3.0	-		
2 外皮性能		外壁:0.69(Kal/m <sup>2</sup> h <sup>2</sup> C)、屋根:0.35(Kal/m <sup>2</sup> h <sup>2</sup> C)		5.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.5</b>	0.25		-		<b>2.5</b>
3.1 昼光利用				<b>3.0</b>	0.30		-		
1 昼光率				3.0	0.60		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				<b>1.0</b>	0.30		-		
1 昼光制御				1.0	1.00		-		
3.3 照度		全般照明方式で500lx以上 1000lx未満。計算書を添付。		<b>4.0</b>	0.15		-		
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	3.0	-		
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.9</b>	0.25		-		<b>3.9</b>
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.50		-		
1 化学汚染物質		規制対象品は全てF☆☆☆☆		4.0	1.00		-		
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.33		-		
2 自然換気性能				3.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-		
4.3 運用管理				<b>5.0</b>	0.20		-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-		-		
2 喫煙の制御		建物内禁煙		5.0	1.00		-		
<b>Q2 サービス性能</b>					0.30		-		<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.2</b>	0.40		-		<b>3.2</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>2.3</b>	0.40		-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性				<b>3.6</b>	0.30		-		
1 広さ感・景観		1階事務室天井高さ 2.8m		4.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース		ラウンジ 150.44㎡		4.0	0.33		-		
3 内装計画				3.0	0.33		-		
1.3 維持管理				<b>4.0</b>	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		①/②防汚性の高い材料(抗菌仕様) ③床面は適度な水を使用して洗浄可能 ⑤風除室内で自動扉が監視しない距離を確保 ⑥大きく異なる床材の接近無し 事務室(タイルカーペット)、便所等(ビニル床タイル) ⑩外部鉄部は溶融亜鉛メッキ		4.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		②SK ④ゴミ庫 ⑤SK ⑥屋外、共用通路に電源あり ⑧排水トラップ取り外し可、清掃可能 ⑨パブルは操作可能な位置にあり ⑪共用部からのメンテ可能		4.0	0.50		-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.2</b>	0.30		-		<b>3.2</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.7</b>	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		金属サンドイッチパネル 耐用年数25年以上		4.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		事務室 床:タイルカーペット(20年)、天井:DR(30年)、内壁:ビニルクロス(20年)		5.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外ダクトにガルバリウム鋼板採用		4.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管:VLP、排水管:VPでC以上を2つ以上採用		4.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				<b>3.0</b>	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		

	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	
	3	電気設備	3.0	0.20	-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	
	5	通信・情報設備	3.0	0.20	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.6</b>	0.30	-	-	<b>3.6</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	1F 階高4.5m、2F 階高4.4m		5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.09		5.0	0.40	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.40	-	-	<b>3.9</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>	・埼玉県景観条例(景観計画区域内における行為の届出) ・ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例(緑化計画届出) ・地区計画区域内における行為の届出 ・周囲からの見え方を考慮し屋上設備機器設置スペースの東・南・西面に目隠し壁の設置		<b>5.0</b>	0.40	-	-	<b>5.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.5</b>	0.30	-	-	<b>3.5</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>	庇、1階に直売所/見学室を計画 敷地周囲は、見通しの良い緑化フェンス(H=1000)を設け防犯・防災性に配慮。コンベの実施		<b>4.0</b>	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>	[BEI][BEIm] = 0.79		<b>3.1</b>	0.50	-	-	<b>3.1</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
<b>1.1 節水</b>	洗浄水量2ℓ/回の自動水栓、洗浄水量4.8ℓ/回の擬音装置付き大便器		<b>4.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.3</b>	0.60	-	-	<b>3.3</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.11	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.22	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>	-		3.0	0.22	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>	フロアリウムソイルドNW(床材)、アキレスエアフロンFR-NF(断熱材)		4.0	0.22	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			-	-	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>	再利用できるユニット部材(OAフロア)の使用		4.0	0.22	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	<b>3.7</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>4.0</b>	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	アキレスエアフロンFR-NFを使用		5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>	LCO2排出率90%		<b>3.4</b>	0.33	-	-	<b>3.4</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.5</b>	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	駐車場38台(附置義務台数24台)、駐輪場確保 荷捌き車両用駐車スペース確保		5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	0.20	-	-	

	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明の光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たす 広告物照明は行っていない	5.0	0.70	-	-
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	株式会社アヤベ洋菓子 吉川新工場	BEE	1.4	BEEランク	★★★
------	------------------	-----	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		合計スコア		BEEランク	
3.4	+	3.0	=	6.4			
重点項目の各スコアの合計点							
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 				

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.4
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.4
ライフサイクルCO2排出率 換算スコア3.4			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	3.0
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
特になし			

:入力欄